

商工会

はわて

No.256

■編集・発行／岩手県商工会連合会
〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通1-3-8
電話 019-622-4165 FAX 019-654-3363
URL <https://www.shokokai.com/>

(2023年6月15日発行)

■写真／(株)水清建設

* Contents *

- 2 商工会連合会重点事業・通常総会開催
- 3 青年部・女性部総会開催 春の叙勲・褒章
- 5 生産性向上や事業見直しについて
- 6 事業承継の現状と円滑な承継に向けて
- 7 専門家派遣制度 中小企業景況調査
- 4 DXって何？ 簡単？ 難しい？
「インフラDX大賞」(株)水清建設の取り組み

令和五年度 商工会連合会重点事業

令和五年度の本会事業等を審議する臨時総会が、去る三月二十四日に開催されました。

令和五年度は、コロナ禍やコスト高等で苦しむ地域企業の経営危機回避を最重点に取組むとともに、会員企業の未来に貢献すべく「地域経済及び企業の発展に貢献できる、より質の高い課題解決力を持った商工会」を目標とし、高橋会長をはじめ役員が「一丸となり、次の七つの重点事業を核に、各種事業を積極的に実施して参ります。

一、事業再構築や販路拡大支援等によるコロナ禍の早期克服

- ・需要の変化に対応したビジネスモデルの見直し支援とともに、資金繰り・経営改善・事業再生・再チャレンジに向けた相談体制を強化します。
- ・SNSやECサイトを活用した販路開拓支援を実施し、新たな販売方法や集客方法の革新を促します。

二、地域密着型コンサルティングの推進と広域支援制度による支援水準の引上げ

- ・計画経営の普及を主とした地域密着型コンサルティングの推進により企業の生産性向上

を図ります。

- ・いわてビジネスイノベーションアワードを実施し、戦略的な経営を喚起します。
- ・広域経営指導員を核としたOJTによる支援水準の底上げを図ります。

- ・事業承継案件の掘り起こしや事業承継診断等により、事業者の状況に応じた事業承継を推進します。

三、デジタル化・DXの推進等による会員企業の生産性向上支援

- ・企業経営の効率化・高付加価値化に向けて、企業のDXへの取組みを支援します。
- ・新たな記帳システムの導入やスマホアプリによる施策情報の発信情報システム環境の整備を進めます。

- ・経営環境の変化に応じた柔軟な働き方を実現するため、企業の労働環境の改善を推進するとともに、インボイス制度等への対応を支援します。

四、実効性の高い組織体制の整備による組織開花期の推進

- ・県下統一行動目標の浸透を図るとともに、国・県の施策等を反映した次期中期計画の策

定を進めます。

- ・商工会機能の維持と支援水準の向上に向けて、広域連携体制の検討と職員の処遇改善や人材の確保と適正配置をすすめます。

五、商工会役職員の研修と次世代リーダーの育成強化

- ・商工会、青年部及び女性部活動を通じて経営者・組織リーダーとして資質向上を図る研修・事業等を実施します。
- ・商工会職員の研修では、国検討の施策の理解と必要知識等の習得を支援します。

六、商工会の環境変化対応及び財政基盤の強化

- ・商工会DX推進計画に基づき、事業の改善や効率化等を目的としたDXを推進します。
- ・商工会業務の効率化に向けて、自己財源確保や財政シミュレーションを実施し、財政運営の健全化を支援します。

七、行政・関係機関との連携強化

- ・各市町村における小規模企業振興条例策定を推進します。
- ・小規模事業者の感染症や災害等へのリスクマネジメントへの支援体制を構築するため「事業継続力強化支援計画」の策定を推進します。

令和五年度 通常総会を開催

去る五月二十九日、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングにおいて令和五年度岩手県商工会連合会通常総会を開催しました。提出された議案は、令和四年度の事業報告書、一般会計をはじめ、四会計の収支決算書等、全七議案が原案のとおり承認・決定され、第八号議案では役員の補欠選任が行われ、新たに県青連会長の小林周平氏が選任されました。

開会にあたり、高橋会長が、挨拶を述べた後、来賓を代表して東北経済産業局長、岩手県知事、岩手県議会議長、日本政策金融公庫盛岡支店国民生活事業統轄より祝辞を賜りました。

- 組織強化優良商工会（八商工会）
滝沢市商工会、洋野町商工会、一戸町商工会、金ヶ崎町商工会、田野畑村商工会、雫石商工会、紫波町商工会、八幡平市商工会
- 経営革新優良商工会（二商工会）
二戸市商工会
- 記帳推進優良商工会（一商工会）
田野畑村商工会
- 福祉向上優良商工会
①商工貯蓄共済の部（六商工会）
前沢商工会、金ヶ崎町商工会、岩手町商工会、軽米町商工会、二戸市商工会、野田村商工会
②会員福祉共済の部（二商工会）
八幡平市商工会



挨拶をのべる県連高橋富一会長



表彰を受ける二戸市商工会生内会長



岩手県商工会女性部連合会 令和5年度通常総会開催

令和5年度岩手県商工会女性部連合会通常総会を5月9日盛岡市「ホテルメトロポリタン盛岡」にて開催しました。

総会開催にあたり木村会長より昨年度はコロナ対策を講じながら、リーダー研修会及びブロック別研修会の開催並びに、書き損じはがきや未使用はがきを収集しジョイセフへ寄贈したほか、新たにヘアドネーションへの協力支援を行い、コロナ禍の中出来る限りの事業を実施した旨挨拶がありました。



挨拶を述べる木村千種県女性連会長

議案に入る前に、部員増強運動で優秀な成績をおさめた八幡平市・岩泉・野田村商工会女性部に表彰状が伝達されました。

議案審議では、雫石商工会女性部の佐々木部長が議長を務め、第1号から第4号議案まで承認されました。

また、第5号議案の任期満了に伴う役員の選任では、次のとおり選任されました。

会 長	木 村 千 種	(山 田 町商工会女性部)
副会長	高 橋 静 子	(軽 米 町商工会女性部)
副会長	平 紀 子	(金ヶ崎町商工会女性部)
理 事	近 藤 とし子	(葛 巻 町商工会女性部)
理 事	宮 野 千 栄	(八幡平市商工会女性部)
理 事	松 本 京 子	(洋 野 町商工会女性部)
理 事	前 川 敬 子	(遠 野商工会女性部)
理 事	酒 本 涼 子	(西 和 賀商工会女性部)
監 事	木 村 里 美	(大 槌商工会女性部)
監 事	内 沢 由美子	(二 戸 市商工会女性部)

なお、今回の役員改選において、県女性連のためご尽力賜りました水野礼子理事、國枝弥恵子理事、吉田美知子監事の3名の役員が退任されました。



岩手県商工会青年部連合会 令和5年度通常総会開催

令和5年5月10日に令和5年度岩手県商工会青年部連合会通常総会が、盛岡市「アートホテル盛岡」で開催されました。

令和5年度の県青連事業は、例年実施しているリーダー研修会の他、東北六県・北海道商工会青年部員交流研修会が岩手県開催となることや、令和7年度商工会青年部全国大会の本県誘致に向け活動が本格化する等、多くの事業を計画しています。本年度のスローガンを「未来探求 ～よりよい明日を求め続け、次代へ未来へ繋げる～」とし、実施する各種事業が青年部員の成長と地域の未来へ繋がるよう努めていく旨、令和5年度事業計画の中で県青連より説明が行われ、令和4年度の事業報告等と併せて全議案が承認されました。

なお、任期満了に伴う役員改選が行われ、新会長に雫石商工会青年部の小林周平氏が選任されました。



新旧役員による引継ぎ式

(中央左：小林周平新会長 中央右：坂久保了会長)

任期満了に伴う役員の選任によって選出された新役員は次の通りです。

会 長	小 林 周 平	(雫 石商工会青年部)
副会長	小 軽 米 健 太	(二 戸 市商工会青年部)
副会長	兼 澤 幸 男	(大 槌商工会青年部)
理 事	大 崎 伸 幸	(軽 米 町商工会青年部)
理 事	山 口 和 顯	(岩 手 町商工会青年部)
理 事	佐 々 克 考	(山 田 町商工会青年部)
理 事	小 山 祐 樹	(陸前高田商工会青年部)
理 事	小 野 寺 伸	(前 沢商工会青年部)
監 事	中 村 敏 昭	(一 戸 町商工会青年部)
監 事	ラオグジャブ・ムンフバット	(滝沢市商工会青年部)

令和5年春の叙勲・ 褒章受章者のご紹介

四月二十九日に発令された令和五年春の叙勲・褒章において、次の四名の方々が叙勲・褒章の栄に浴されました。心からお祝い申し上げます。

● 旭日双光章



大沢 伸子
(野田村商工会理事)



関 善次郎
(八幡平市商工会員)

● 瑞宝単光章



福島 國男
(洋野町商工会員)

本人のご意向により、写真掲載をしておりますが、旭日単光章を、田面木哲也(八幡平市商工会員)が授章されております。(掲載敬称略)

「インフラDX大賞」(株)水清建設(矢巾町)の取り組み



▲DX大賞受賞
水清建設(HP)

水本 孝社長



従来のやり方を正しく覚えることは、DXの前提です。

DX事例紹介

国土交通省の「令和四年度インフラDX大賞・優秀賞」を受賞した株式会社水清建設の水本孝社長(矢巾町商工会長)にお話を伺いました。

一級河川改修工事において、測量、設計、土工までを一連のICTを活用し「工程を三割程短縮」したことや、ICT建機により取得した河床三次元データを元に「安全かつ迅速」に起工測量したことなどが、審査員に評価されました。

DX化への道のり

水本社長の「やろうよ」の一言から始まったDX化ですが、当初、積極的な社員は少なかったといいます。取り組

みには「業務をゼロから見直す」ことが求められますが、社員からの意見は少なく苦労しました。

さらに熟年者は、現状の仕組みに慣れているために、新しい取り組みを嫌がる傾向があります。同社では、DX化に否定的な社員には「あなたの為の改善」と伝え、社員の理解・協力を得ながら現場目線でDX化を促進してきました。

社内での取り組み

同社ではDX化の取り組みを加速させ、デジタル人材育成する為に若手中心の「ICTチーム」を発足させ、勉強会などを通じてスキル・知識を学び、社員のデジタルリテラシーを高めてきました。そして、前述の工事などを通して社員にDXの良さが徐々に伝わっていき、ICTを社内にて定着することができました。

DX化の効果

若手社員のモチベーションが向上、半歩先を行く会社というイメージから「毎年新卒を採用する」ことや、「新入社員の定着率を良くする」こ

とができました。

また、業績アップ・工期短縮したことにより、週休二日を実現し、「働き方改革」にも繋げることができました。

DXを加速させる

同社では、次なる取り組みとして、バックオフィスに新たなシステムを導入しさらにDXを進め、社員の働きやすい環境を整え、市場競争力を高めようとしています。「DXに取り組まない企業・個人は、世の中に置いて行かれる」との、水本社長のお言葉が印象的でした。

商工会のDX支援

DXに取り組みたいとお考えの方は、最寄りの商工会に相談することで「専門家の派遣」等が可能です。

また、コストのかかるDX導入には「IT導入補助金」等を活用することも可能です。

DX化により既存業務が変わった「驚き感」を社内で見出し、会社と社員の「笑顔」を増やしてもらいたいと思います。

※ ICT：情報通信技術 (Information and Communication Technology)

あなたも家族もまるごと守る！ 頼れる補償の 商工会の福祉共済

毎月ご加入
いただけます!!

全国商工会会員福祉共済



シンプル
「がん」補償



トータル
「がん」補償



「けが」の
補償



「病気」の
補償

けが・病気・がん
に
しっかり備える

大切な、商工会会員の皆さま、だからこそ
加入できる特別な制度です!

ご加入できる方

商工会の会員とその家族、会員の従業員とその家族、商工会・連合会の役職員とその家族であって健康な方が対象となります。

(「病気」の補償およびトータル「がん」補償・シンプル「がん」補償の場合、健康状態に関する告知義務があります。)
※ただし2022年11月1日時点での満年齢が満6歳以上満80歳以下(シニア医療特約・シニアトータル「がん」プラン・シニアシンプル「がん」プランでは新規ご加入は満74歳以下)の方に限ります。
「家族」とは…①配偶者、父母、子 ②同居かつ扶養している祖父母・兄弟姉妹・孫 ③配偶者の父母 をいいます。
※万一、商工会からの脱退や退職等により、加入者資格を喪失した場合には、お手数ですが、ご加入の商工会へご連絡くださいますようお願いいたします。



福祉共済加入者・被共済者の皆様は、自動的に商工会プラチナクラブの会員になり、「ベネフィット・ステーション」(運営:ベネフィット・ワン)の優待サービスをご利用いただけます!

お問い合わせ・資料請求はご加入の商工会まで

経営力向上につながる生産性向上や事業の見直しについて ～中小企業白書・小規模企業白書のポイントと支援施策のご紹介～

●中小企業白書・小規模企業白書のポイント

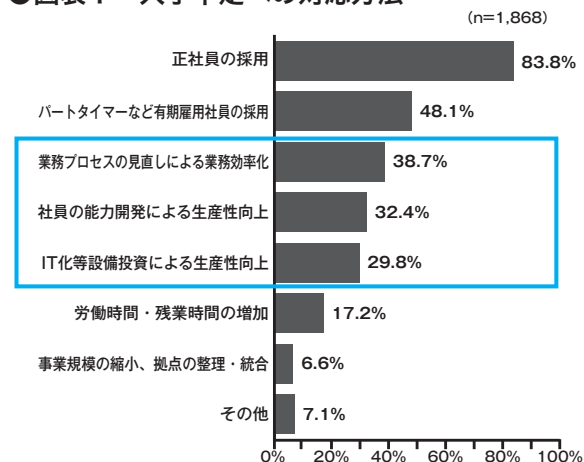
国内の中小企業の2022年第1四半期の売上高は129兆円で2020年の第1四半期と同水準となり、**新型コロナウイルス流行前の水準に回復**しています。

売上が回復する一方で、全業種ともに2020年第1四半期以降は人材過不足D Iのマイナス幅が拡大し続け、**人手不足感が強まっています**。

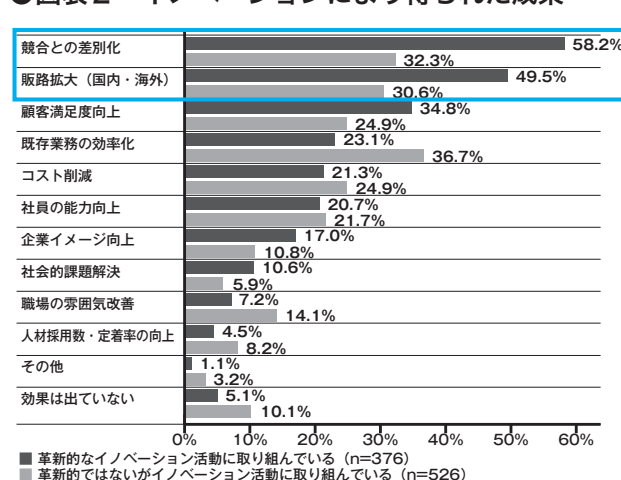
国内の中小企業は、このような人手不足に対応するために業務プロセス見直し、人材育成、設備投資などによる**生産性向上や事業の見直し**などの新たな取り組みを行う動きが見られます（図表1）。

実際、生産性の向上や事業の見直しなど環境変化に対応して新たな事業に取り組んだ中小企業は、競合との差別化や販路拡大につながるといった成果が出ていることから、**イノベーションによる生産性向上を重要なポイント**として中小企業白書・小規模企業白書では挙げています。特に、革新的ではないがイノベーションに取り組んだ中小企業と比べて、**革新的なイノベーションに取り組んだ企業の方がより効果が大きく経営力向上につながっています**（図表2）。

●図表1 人手不足への対応方法



●図表2 イノベーションにより得られた成果



出典：いずれの図表も2023年版中小企業白書・小規模企業白書より

●中小企業・小規模事業者向けの支援施策のご紹介（一例）

新型コロナウイルスの流行が収束し経営環境が変化する中、中小企業・小規模事業者の抱える、販路開拓、事業の見直し（再構築）、生産性向上等の様々な課題解決に対応した国の支援施策（補助金）があります。商工会は、認定経営革新等支援機関として事業者の皆様に伴走した支援を行いますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

1 小規模事業者持続化補助金 ～小規模事業者の販路開拓に向けた取組を支援します～

- 申請対象者：小規模事業者（従業員が製造業その他20人以下、小売りサービス業5人以下、サービス業の内泊業・娯楽業20人以下）
- 主な対象経費：機械装置等費、広報費、ウェブサイト関連費、展示会等出展費、開発費、借料、委託・外注費等
- 補助金上限額：**50万円～200万円** ●補助率：**2/3～3/4** ※申請枠により補助金額の上限や補助率が異なります。
- その他：今年度の公募から原則Jグランツによる電子申請となります（※書面申請の場合採点時減点対象となります）。

2 事業再構築補助金 ～アフターコロナ等の環境変化に対応した事業の見直しや再構築を支援します～

- 申請必須要件 ①事業計画について商工会などの認定経営革新等支援機関の確認を受けること
②補助事業終了後3～5年で付加価値額の年率平均3%～5%以上増加、
又は、従業員一人当たり付加価値額の年率平均3%～5%以上増加を達成すること
- 主な対象経費：建物費、機械装置システム構築費、広告宣伝費等
- 補助金上限額：**500万円～1.5億円** ●補助率：**1/2～3/4**
※申請枠は、成長枠、最低賃金枠、物価高騰対策回復再生応援枠、グリーン成長枠、卒業促進枠等があり申請枠により補助金上限、補助率が異なります。

3 ものづくり・商業・サービス生産性向上補助金 ～生産性向上に向けた設備投資等の導入を支援します～

- 対象経費：新製品・新サービスの開発や、生産プロセス・提供方法の改善等を通じて生産性が向上する機械装置やソフトウェア等を新たに導入する費用、運搬費、技術導入費、知的財産権関連経費等
- 補助金上限額：**750万円～5,000万円** ●補助率：**1/2もしくは2/3**
※申請枠は、通常枠、回復型賃上げ・雇用拡大枠、デジタル枠、グリーン枠等があり、申請枠に補助金額や補助率が異なります。

事業承継の現状と円滑な承継に向けて ～中小企業白書・小規模企業白書のポイントと岩手県の現状～

●中小企業白書・小規模企業白書からみた事業承継の現状

(1) 経営者の年齢の推移（図表1）

経営者年齢のピークは高齢化が進んでいましたが、2022年は経営者年齢の多い層が「60～64歳」、「65～69歳」、「70～74歳」に分散しています。その中で75歳以上の経営者の割合は、2022年も高まっており、経営者年齢の上昇に伴い事業承継を実施した企業と実施していない企業に二極化していることがわかります。

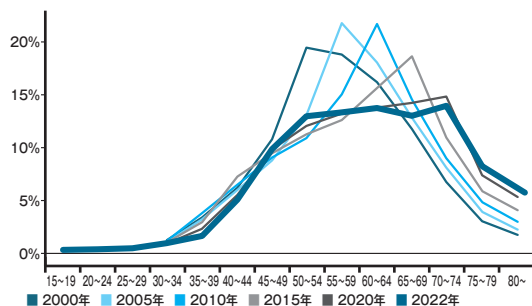
(2) 経営者の年齢別の事業承継の意向（図表2）

経営者の事業承継の意向を分析すると、経営者の年代が上がるにつれて事業承継を検討する企業の割合が高くなっていますが、「誰かに引き継ぐことは考えていない・廃業を検討している」企業が一定割合あります。また、事業承継の意向が「未定である・分からない」と回答する企業の割合は、70歳代以上の経営者でも3割弱あり、事業承継にむけて支援機関などに相談するなど早急な対応が必要。

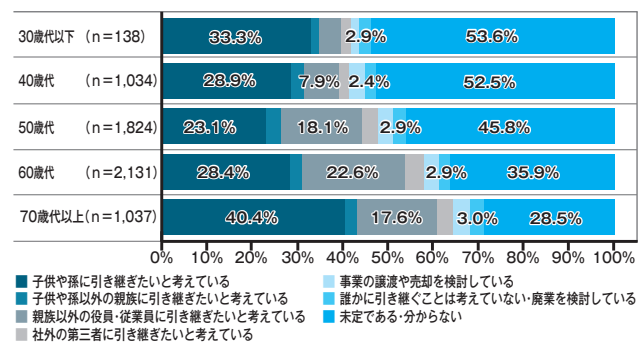
(3) 事業承継による企業の成長（図表3）

事業承継を契機に新商品の開発や新サービスの提供等の、事業の再構築を実施した企業の76%が売上高増加等の効果があったと回答しており、経営者の世代交代は企業を変革し成長するチャンスであることを示しています。

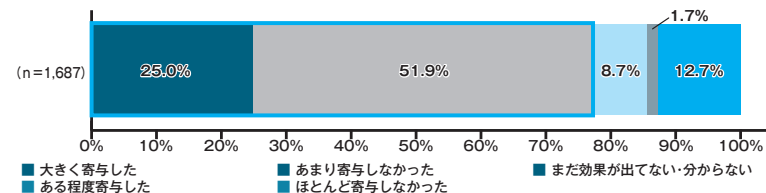
●図表1 中小企業の経営者年齢の分布



●図表2 経営者の年齢別の事業承継の意向



●図表3 承継後に実施した事業再構築の成果



出典：いずれの図表も
2023年版中小企業白書・
小規模企業白書

●岩手県の事業承継の現状（帝国データバンク盛岡支店公表の事業承継に関する動向調査より）

岩手県内の企業（全業種）に2020年に実施した調査によると、調査した企業の69.0%が後継者不在と回答して年々増加傾向にある他、全国平均の65.1%を大きく上回っています。

経営者の年齢別の不在率をみると、60代が55.2%、70代が44.2%、80代が51.4%、事業承継の適齢期の経営者のいずれも全国平均を上回り、岩手県内の後継者不足は深刻であるため、早急な対応が必要です（図表4）。

なお、岩手県では円滑な事業承継を支援するために以下のような支援施策を本会を通じて実施します。商工会を通じてぜひご活用ください。

●図表4 岩手県の後継者不在率の推移

年代別	岩手県			参考：全国		
	2019	2020	増減比	2019	2020	増減比
30代未満	100.0	100.0	+0.0	91.9	92.7	+0.8
30代	91.7	89.2	△2.5	91.2	91.1	△0.1
40代	87.5	89.4	+1.9	85.8	84.5	△1.3
50代	77.8	74.7	△3.1	71.6	69.4	△2.2
60代	54.3	55.2	+0.9	49.5	48.2	△1.3
70代	42.4	42.4	+0.0	39.9	38.6	△1.3
80代以上	38.0	51.4	+13.4	31.8	31.8	+0.0
平均	67.8	69.0	+1.2	65.2	65.1	△0.1

●岩手県の中小企業向けの事業承継補助金(予告)のご紹介～円滑な事業承継を支援します～

●対象事業者：令和5年4月1日時点で事業承継実施後2年以内、もしくは3年以内に代表者を交代する事業承継を行う計画を有する岩手県内に主たる事務所・工場等を有する中小企業・小規模事業者（県税の滞納が無いこと）

●対象事業：後継者又は後継予定者が中心となり、事業承継を契機として販路開拓や収益力向上を目指す新たな取り組み

●対象経費：備品機械設備等購入費、IT導入費、広報費、施設改修費、市場調査販路開拓費、原材料費等

●補助金額：補助上限100万円 ●補助率：1/2

●その他：商工会等の支援機関を通じた補助金の申請となり、審査会でのプレゼンテーションがあります。

※公募期間等の詳細は、後日商工会を通じてお知らせしますのでお問い合わせ下さい。

経営に関するお悩み ありませんか？

商工会では、皆さまの経営における幅広いお悩みを解決するため、**【専門家派遣制度】**による支援を行っています。

●経営安定特別相談室

取引先の倒産、融資相談、事業承継や相続問題等について、専門家が相談対応に当たります。

●中小企業事業再生・再チャレンジ支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業の、金融面や事業再生等を伴走型で支援いたします。

また、国の補助金等を活用し、ビジネスモデルの見直しを図る中小企業者を支援いたします。

●事業環境変化対応型支援事業

新型コロナウイルス感染症等の影響や最低賃金引上げ、デジタル化、インボイス制度導入、エネルギーその他の物価高騰等の対応といった事業環境変化による影響を受ける中小企業・小規模事業者を支援します。

●制度改正等の課題解決環境整備事業

労働法制、税制度、民法等の制度改正等により生じる諸課題への対応や生産性向上に向けたアドバイス等の指導・助言を行います。

※無料で実施いたしますが、ご利用の制度により、利用回数の上限が異なります。

ご利用には事前の相談が必要です。お一人でもお気軽に商工会にお問合せください。



▲県内商工会HP一覧

嘱託専門指導員のご紹介

本会では、県内中小・小規模事業者からの専門分野や特定事業への相談や支援体制を強化するため、嘱託専門指導員を配置しています。

●情報担当



酒井 知

●労務担当



佐々木康晴

●経営革新担当



佐藤 史朗



熊谷 誠

●小規模事業者持続化補助金事業担当



廣田 勝彦



伊藤 友彦

●中小企業事業再生・再チャレンジ支援事業担当



鈴木登志朗



菊池 朗

●事業環境変化対応型支援事業担当



古澤 啓二



伊藤 貴明

●制度改正等の課題解決環境整備事業担当



多田 信弘

中小企業景況調査結果の概要

令和4年度第4四半期
(令和5年1月～3月)

◆サービス業、小売業で売上高D・Iが改善、製造業、建設業が悪化

今期の売上高D・Iは、サービス業、小売業が改善し、サービス業は2期連続の改善となりました。他方、建設業、製造業は3期連続の悪化となりました。サービス業は8.3ポイント増加して△23.3、小売業は20.0の大幅な増加となり、△30.0まで改善しています。製造業は9.5ポイント減少して△23.3、建設業は10.0ポイント減少して△45.0まで低下しています。

サービス業は10.1ポイント増加して△31.6まで改善、小売業は横ばいに留まったものの依然として△50.0の低いレベルで推移しています。

来期は、全産業において改善することが見込まれます。サービス業は3期連続しての改善、製造業、建設業も改善に転じる見通しとなっています。

◆採算：製造業において採算D・Iが改善、小売業、サービス業、建設業が悪化

今期の採算D・Iは、5期連続して悪化していた製造業が改善に転じましたが、小売業、サービス業、建設業が悪化となりました。製造業は18.6ポイント増加して△40.0まで改善しましたが、小売業は5.0ポイント減少の△50.0、サービス業が8.4ポイント減少の△56.7、建設業は15.0ポイントと大幅に減少して△65.0となり、依然として低いレベルで推移しています。

来期は、全産業において改善が見込まれます。今期大幅に低下した建設業が上昇に転じて大幅に改善するほか、他の3業種も改善することが予想されています。

◆資金繰り：製造業を除く3業種において資金繰りが悪化、製造業が大幅に改善

今期は製造業を除く3業種において資金繰りD・Iが悪化しました。前期改善に転じていた建設業、小売業、サービス業が悪化しています。建設業は9.2ポイント減少して△25.0、小売業は15.4ポイントの大幅な減少により△43.6となりサービス業もわずかながら減少して△36.7となっています。2期連続して悪化していた製造業は増加に転じ、△26.6まで改善しています。

来期は、全産業において資金繰りD・Iが改善することが予想されています。

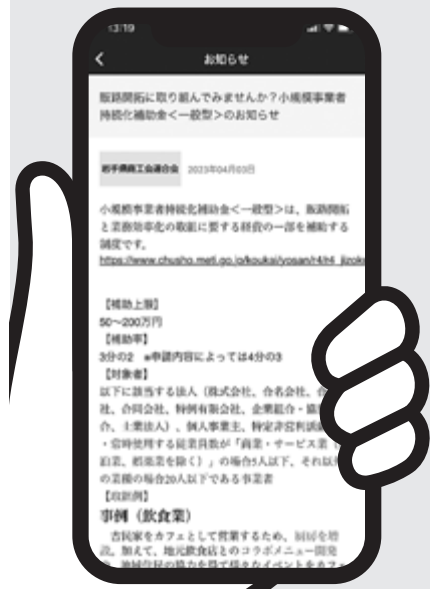
業況天気図（売上高D・I）

業種	期間	令和4年 1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	今期 令和5年 1月～3月	(見通し) 4月～6月
製造業		雨 (△42.9)	晴 (16.6)	薄曇 (0.0)	曇 (△13.8)	曇 (△23.3)	薄曇 (△6.6)
建設業		曇 (△25.0)	薄曇 (△5.0)	曇 (△26.3)	雨 (△35.0)	雨 (△45.0)	雨 (△35.0)
小売業		雨 (△53.7)	雨 (△40.0)	雨 (△50.0)	雨 (△50.0)	曇 (△30.0)	曇 (△20.0)
サービス業		雨 (△45.9)	雨 (△31.7)	雨 (△41.7)	雨 (△31.6)	曇 (△23.3)	曇 (△13.4)

凡例	売上高DI	100.0～30.1	30.0～10.1	10.0～△10.0	△10.1～△30.0	△30.1～△100.0
表示	快晴	晴	薄曇	曇	雨	

注) D・Iとは、景気動向指数の略で、増加（上昇、好転、長期化）企業と減少（低下、悪化、短期化）企業の差を示すものです。

岩手県商工会連合会 会員用公式アプリ 配信開始



経営に役立つ情報をスマホにお届けします！

補助金 販路開拓 資金調達 経営事例 セミナー イベント

補助金や資金調達の中小企業施策、セミナー、経営事例、イベント等の新着情報をスマートフォンやタブレットにお届けする岩手県商工会連合会公式アプリ。

無料で、今までより素早く、情報をキャッチすることが出来ます！



今すぐダウンロード！

無料



App Store
からダウンロード



Google Play
で手に入れよう

または
各アプリストアから

岩手県 商工会



アプリのご利用は、商工会員様のみ可能となっております。
詳しくは、所属商工会までお問い合わせください。

ハローワークとともに 再就職を支援します

相談・支援
無料

厚生労働省と経済・産業団体の協力で1987年に設立された公益財団法人です。全国ネットで再就職・人材確保の支援を行っております。

信頼と安心
設立以来 人材マッチング
24万人以上就職実現

- 雇用を守る出向・移籍マッチングをサポート
- 会社都合で離職、転職される方の再就職をサポート
- 60歳以上の方のキャリアを活かした再就職をサポート
- 企業間の人材マッチングをサポート
- 優秀な人材の育成、職場の活性化などをサポート

公的機関として支援実績多数。
お気軽にご相談ください。

〈応援します、頑張るあなたの新職場!!〉

公益財団法人 産業雇用安定センター
岩手事務所

電話番号 019-625-0434

住所 〒020-0022

盛岡市大通3-3-10

七十七日生盛岡ビル5階



ILC current topics 第7号

「高校生先端研究施設派遣研修の実施について」

昨年12月の「令和4年度いわての高校生サイエンス&エンジニアリング・チャレンジコンテスト」で1位（岩手県知事賞）となった盛岡第一高等学校「堀間班」の生徒5名が、副賞の先端研究施設派遣研修に参加しました。

3月に行われた研修では、茨城県のJ-PARC（大強度陽子加速器施設）や岐阜県のスーパーカミオカンデ（東京大学宇宙線研究所）、KamLAND（カムランド・東北大学ニュートリノ科学研究センター）

等を訪問し、ILCの基幹設備である加速器施設やJ-PARCとスーパーカミオカンデを結んだニュートリノ振動実験などを見学しました。

最先端の素粒子物理学研究に触れた生徒等からは、「研究者としての道も進路の一つとして考えるようになった」などといった感想が寄せられました。

コンテストを主催した県は、今後も県内の高校生・高専生の科学に対する興味・関心を深める取組を推進し、ILCを担う人材の育成に取り組んでいくこととしています。